

講演会報告

2016年8月27日(土)

府中市立図書館講演会

「世界の図書館を巡る旅&インターネットにだまされない学び方入門」

世界の図書館を巡る旅
8/27 (土)
インターネットにだまされない学び方入門

北欧・エジプトなど 世界中の図書館を旅しながら調べ学習のコツについて伝授します!!

これから学習に役立つ!

時間 14:00~16:00
会場 ルミエール府中1階 第一・第二会議室
対象 小学生以上 ◆親子参加可◆
講師 梅澤貴典氏 (中央大学職員) **定員50名** (事前申込)

【プロフィール】
中央大学理工学部図書館において、電子図書館化と学術情報リテラシー教育を7年間担当。東京大学大学院の教育学研究科大学経営・政策コース修士課程を修了し、大学生や社会人大学院生に向けた図書館や学術情報データベースを活用した教育研究支援とその効果を研究。最近では、小学生を始め中高生や一般市民・企業人も対象とした学術情報リテラシー教育による知的生産力・企画立案力の向上策についても研究と実践を続けている。

【申込方法】 7月21日(木)から中央図書館に電 (5階事務室に午前9時から午後7時)
【問合せ】 府中市立中央図書館 042-362-XXXX

府中市立図書館講演会

本日の講師は、中央大学の梅澤貴典さんです。

悪天候にもかかわらず、さわやかに来館していただきました。

本業である大学職員のお仕事以外にも、各地で講演活動をされていて、あちこちからひっぱりだこの大人気の講師です。大人向けにも子ども向けにも、わかりやすくお話してくれる梅澤さんですが、今日の講演会の対象は、「小学生から大人」。幅広い年代の方に、どのようにお話をされるのか、スタッフも楽しみにしていました。



中央図書館の夏休みイベントも、この日が最後です。

夏休み最終土曜日の開催になりましたが、大人32人、子ども12人が参加してくれました。

小学生あつまれ



夏休み は図書館へ行こう！

夏の子ども向けイベントスケジュール

日時	イベント名	受付	対象
7/23(土) 午後3時～3時45分	よむよむ探検隊	当日 会場へ	小学4・5・6年生
7/24(日) 午後2時～4時半	しかけカードのつくり方教室	6/22～	小学3年生以上一般
7/27(水)・8/24(水) 午前10時～/午後2時～	図書館探検隊	下記参照	小学生とその保護者
7/31(日)・8/21(日) 午前10時～/午後2時～	図書館員体験ツアー	下記参照	小学生とその保護者
8/4(木) 午後3時半～4時半	夏のお楽しみおはなし会	当日 会場へ	3歳～小学生
8/19(金) 午後2時～4時	科学あそび	7/21～	小学生
8/20(土) 午後2時半～4時	真夏の怪談話	7/21～	小学3年生以上一般
8/20(土)・21(日) 午後4時～5時	お気に入りの本のPOPをつくろう！	当日 会場へ	どなたでも
8/27(土) 午後2時～4時	世界の図書館を巡る旅	7/21～	小学生以上一般

色々な図書館の美しい写真をたくさん見せてくださると聞いていたので、機材担当のスタッフもチェックに力が入ります。



今回は初めて参加してくださる方や、遠方から来られる方がいらっしゃるなので、案内表示も目立つように。

みんなとおしゃべりをするような自然な雰囲気、梅澤さんの講演会が始まります。
命令ゲームで肩の力を抜いた後は、梅澤さんの働く中央大学の図書館についてクイズです。
中央大学の図書館にある本を、一日1冊読んだら、全部読み終わるまでにどのくらいかかるでしょうか？



正解は…

みなさん想像以上に長くかかることに驚かれた様子でした。

でも、一生かかっても読み切れないほどの本、しかも自由に手に取れる本に囲まれるなんて、なんだかとても素敵な気持ちになりますね。

ちなみに府中市の図書館は、中央図書館の子どもの本だけで約14万冊所蔵しています。

一日1冊読んだら、300年以上かかります。



「インターネットで調べれば何でもわかるように思えるけれど、実はわかるのは情報のほんの一部。

しかも、ネット上にあるのは、『誰かが伝えたいと思った情報だけ』です。」と梅澤さん。

ヒントを見つける手段としては使えそうですが、ネット情報を根拠に答えを出すのは危険ですね。

ネットの世界では、「みんなが言っている」ことがいつの間にか本当のこととして広まってしまふことがあります。

出典や情報の責任者がきちんと表示されている図書館の資料で「本当のこと」を確認していくことは、とても大切な事だということ、具体例をあげてお話してくださいました。

図書館とはどういうところかを学んだところで、梅澤さんがかつて訪れた世界の素敵な図書館を写真で巡ります。



最古の図書館である古代アレクサンドリア図書館や新アレクサンドリア図書館、ブラック・ダイヤモンドと言われるデンマーク王立図書館、アメリカの大学図書館の様々な取り組みをはじめ、必要なところに必要な空間をたっぷり使った図書館の様子にため息が出ます。



みなさんがわからないことにぶつかった時、使える図書館やツールは日本にもたくさんあります。
まずは身近な図書館や、信頼できるホームページの紹介。



本を探すときに役に立つ、日本十進分類法は、国立国会図書館のキッズページでも見ることができます。

http://www.kodomo.go.jp/kids/research/use/use_ndc.html

江戸時代から現在まで日本で出た本がほとんど検索できる「ウェブキャット」

<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

いろいろな図書館の本を検索できる「カーリル」

<https://calil.jp/>



最後の質問タイムでは、「図書館の人に話しかけるのは勇気がいる。どのように質問したら求める答えが得られるのか」といった、スタッフもハッとするような鋭い質問がたくさん出ました。

「分からないことを図書館に質問する時は、いちばん笑顔で話してくれる人を選びましょう。期待に応えられる自信のある司書は、自然に笑顔になっているはずですから」と梅澤さん。

みなさんに気持ち良く、気軽に図書館を活用していただくために、笑顔で自信を持って応えられるよう私たちが頑張ろう、とスタッフは心の中で大きくなすきました。

大人も子どもも「勉強したい!」「本を読みたい!」という気持ちがわいてくる、楽しい講演会でした。